

『頂上制覇 TOEIC® テスト究極の技術^{テクニック}』について

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 1&2 究極の技術^{テクニック} [BOOK 1]』

2016年5月の公開テストから導入される新形式問題で、Part 1（写真描写問題）と Part 2（応答問題）の変更点は以下の通りです。

写真描写問題（Part 1）と応答問題（Part 2）の設問数が減ります。⇒Part 1は10問から6問に、Part 2は30問から25問になります。

ですが、問題数が減っても、両 Part を集中して学習することで、確実にスコアアップがはかれます。問題形式、内容は変わりませんので、『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 1&2 究極の技術^{テクニック} [BOOK 1]』を引きつづきご利用いただけます。

本書には Part 1 問題が 40 問、Part 2 問題が 120 問収録されています。そして実際の TOEIC 問題形式と同じように、できる限り多くの国のナレーターの声声を収録しました。アメリカ男性、アメリカ女性、イギリス男性、イギリス女性、カナダ女性、オーストラリア男性、オーストラリア女性の合計 10 名の音声で問題を朗読しています。ぜひ本書の問題を繰り返し解いて、Part 1 と 2 のスコアアップをはかってください。

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 3&4 究極の技術^{テクニック} [BOOK 2]』

2016年5月の公開テストから導入される新形式問題で、Part 3（会話問題）と Part 4（説明文問題）の変更点は以下の通りです。

会話問題（Part 3）の設問数が増えます。⇒10セット 30問から、13セット 39問になります。

会話問題の中に、発言が短くやり取りの多いものが加わります。

3名で会話する設問が1セットあります。⇒おそらく Part 3 の 8～10 セット目の問題、すなわち Question 53-55, 56-58, 59-61 で出題されると思われます。

Elisions（省略形：going to が gonna など）、Fragments（文の一部：Yes, in a minute; Down the hall; Could you?など）を含む会話が流れます。

会話やトークの中で聞いたことと、問題用紙に印刷された図などで見た情報を関連づけて解答する設問が加わります。⇒Part 3 では 11 セット目から 13 セット目、すなわ

ち Question 62-64, 65-67, 68-70, Part 4 では9セット目と10セット目、すなわち Question 95-97 と 98-99 で出題されると思われます。

会話やトークの中で話し手が暗示している意図を問う設問が加わります。⇒Part 3, 4 とも2問ずつ出題されると思われます。

以上の変化はありますが、**Part 3, 4 とも従来の問題が7割以上出題されますので、**

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 3&4 究極の技術^{テクニック} [BOOK 2]』を引
きつづきご利用いただけます。

本書には Part 3, 4 ともそれぞれ 40 セット 120 問の問題が収録されています。そして実際の TOEIC 問題形式と同じように、できる限り多くの国のナレーターの音声を収録しました。アメリカ男性、アメリカ女性、イギリス男性、イギリス女性、カナダ女性、オーストラリア男性、オーストラリア女性の合計 10 名の音声で問題を朗読しています。ぜひ本書の問題を繰り返し解いて、Part 3 と 4 のスコアアップをはかってください。

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 5&6 究極の技術^{テクニック} [BOOK 3]』

2016 年 5 月の公開テストから導入される新形式問題で、Part 5 (短文穴埋め問題) と Part 6 (長文穴埋め問題) の変更点は以下の通りです。

短文穴埋め問題 (Part 5) の設問数が減ります。⇒40 問から 30 問になります。

長文穴埋め問題 (Part 6) の一つの文章に含まれる設問は 3 問から 4 問に増えます。

⇒問題数は 12 問から 16 問に増えます。

長文穴埋め問題 (Part 6) で、文書内の空欄に最も適切な一文を選ぶ問題が出題されます。⇒各セットに 1 問ずつ合計 4 問出題されます。

以上の変化はありますが、**Part 5, 6 とも従来の問題が9割以上は出題されますので、**

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 5&6 究極の技術^{テクニック} [BOOK 3]』を引
きつづきご利用いただけます。

本書には Part 5 の問題が 160 問、Part 6 の問題が 48 問収録されています。ぜひ本書の問題を繰り返し解いて、Part 5 と 6 のスコアアップをはかってください。

『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part 7 究極の^{テクニック}技術 [BOOK 4]』

2016年5月の公開テストから導入される新形式問題で、Part 7（読解問題）の変更点は以下の通りです。

読解問題（Part 7）で、文書内に新たな一文を挿入するのに最も適切な箇所を選ぶ問題が出題されます。

テキストメッセージやインスタントメッセージ（チャット）、オンラインチャット形式で複数名がやり取りを行う設問が加わります。

読解問題で3つの関連する文書を読んで理解する設問が加わります。⇒最後の3セット、すなわち Question 186-190, 191-195, 196-200 に出題されると思われます。

読解問題の設問数（1つの文書、複数の文書）が増えます。⇒single passage 問題 28問が 29問に、double passage 問題 20問が double passage 10問+triple passage 15問になります。

文書中で書き手が暗示している意図を問う設問が加わります。

以上の変化はありますが、**Part 7 も single passage, double passage とも従来の問題が多く出題されますので、『頂上制覇 TOEIC® テスト リスニング Part7 究極の^{テクニック}技術 [BOOK 4]』を引きつづきご利用いただけます。**

本書は Part 7 の問題が 4 テスト分 192 問収録し、難化傾向にある同セクションの問題にも十分に対応しています。ぜひ本書の問題を繰り返し解いて、Part 7 のスコアアップをはかってください。